

生ける水

発行者 日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長 倉賀野 政
編 集 太 田 正 信

目次	
P.1	インマヌエルである …… 鄭 順 葉
P.1	時の声
P.2	教会巡り 江尾キリスト教会 … 稲田敏朗 野敏朗
P.2-3	いのちの雫 …… 倉賀野 敏
P.3	暁のキャロルとキャンドル …… 清水昭雄
P.3	クリスマスの思い出 …… 白川英代
P.4	病院でのクリスマス …… 宮沼 幸子
P.4	関東聖会報告 …… 鶴 君
P.4	報告・案内 etc ……

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

インマヌエルである イエス・キリスト

多摩キリスト教会

牧師 鄭 順 葉



「身よ、おとめがみこもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう。」

マタイ一章二十三節

世界中の多くの人はクリスマスをお祝いしていますが、クリスマスはどんな日でしょうか。これはイエスと言う一人の人間がこの世に生まれたという単純な出来事ではありません。クリスマスとは、神様が人間になって人間の歴史の中にお訪れになったと言う驚異と感激です。

の特徴をよく表しています。「インマヌエル」と言うのは、「神われらと共にいます」と言う意味のヘブライ語です。

「神様」の意味で、「インマヌ」は「われらと共にいる」と言う意味です。すなわち、本来神様である方が人間の姿でこの地に来られ、人間たちと共におられるようになったと言うことです。

「父なる神」を示すものではありません。三位一体の神の中で、「子なる神」を示します。

「インマヌエル」と言う名前前は三十三年間パレスチナの地に生きておられた「イエス・キリスト」が単純な

聖人ではなく、ご自分の民を救うため人間の体をもってこの地に来られた神様であることと示しています。

神様は最初の人間「アダムの墜落後、ご自分の民を救うために絶えず働いておられました。

時が満ちて救いのご計画を完全に成就するため「子なる神」が自ら人間の体をもってこの地に来られたのです。

「インマヌエル」の出来事は罪の固まりである人間の救いのための神様の極めて大きい愛の表現でありました。

「インマヌエル」のキリストは今はその姿がみえませんが、決して私たちのそばを離れたわけではありません。聖霊を通して私たちと共におられます。キリストが復活され、昇天される直前、弟子たちにこの世が終わるまで、共におられると約束されたのもまさにそのような意味です。

私たちは絶対孤児ではありません。私たちを救うため、人間の形で今からほぼ二〇〇〇年前にパレスチナの地に来られたキリストは聖霊を通して私たちが天国に入って救いが完全になるまで私たちを守ってください。

クリスマスシーズンに入り街だけでなく民家も美しいイルミネーションで輝くクリスマス風景一色の日本の師走。

毎年思われるのは日本人の心の広さかと神御自身はこの風景をどう見ておられるのか？と言う事です。

クリスマスは、人類の始祖アダムとエバが墮罪した時に神が救い主の約束をされてから、預言者を通してダビデの子孫、処女降誕、ベツレヘムでの誕生などの預言の成就なのである。

聖書にはイスラエルの民が神の約束を何世代にもわたって待ち望んだ「神の国とその到来」、それは、救い主の誕生から始まって、現在の教会時代、そして間近に迫っているイエス・キリストの再臨、主が王座について行われる愛と義と聖、真実と公平の政治の千年王国、そして現在の天体は焼け崩れて、義の住む新しい天と新しい地が預言され約束されている。



時の声

クリスマスシーズンに入り街だけでなく民家も美しいイルミネーションで輝くクリスマス風景一色の日本の師走。

毎年思われるのは日本人の心の広さかと神御自身はこの風景をどう見ておられるのか？と言う事です。

クリスマスは、人類の始祖アダムとエバが墮罪した時に神が救い主の約束をされてから、預言者を通してダビデの子孫、処女降誕、ベツレヘムでの誕生などの預言の成就なのである。

聖書にはイスラエルの民が神の約束を何世代にもわたって待ち望んだ「神の国とその到来」、それは、救い主の誕生から始まって、現在の教会時代、そして間近に迫っているイエス・キリストの再臨、主が王座について行われる愛と義と聖、真実と公平の政治の千年王国、そして現在の天体は焼け崩れて、義の住む新しい天と新しい地が預言され約束されている。

日本福音教会連合 教会巡り⑧

一人が一人を御救いに

江尾キリスト教会

牧師 稲田敏朗

「彼らはいにしえの荒れた所を建てなおし、さきに荒れた所を建てた所を興し、荒れた町々を新たにし、世々すたれた所を再び建てる。」

イザヤ書六一章四節

江尾キリスト教会は、国立公園大山と、その源から流れる日野川に挟まれた山あいの町にあり、江府町のホームページには、二〇〇九年九月現在、人口三五七五人、所帯数一一四二と表示されており、交通の便は、JR伯備線の特急が通過してしまいうろーカル駅で、米子から岡山に向う五番目の駅が最寄りの江尾駅となります。

教会の歴史は古く、一九三〇年(昭和五年)に、東洋宣教会米子ホーリネス教会の森



第一回目の礼拝後、教会の将来について信者さんの意見を聞きました。その会議において、三つの選択肢が検討されました。第一案は「現在

信一郎牧師が家庭集会を開始されたのが最初であり、爾来、七九年間にわたって伝道の業が進められ、歴代の牧師先生は延べ一六名で、私は一七代目となります。

二〇〇四年三月末、私は米子教会における最後の礼拝を終え、翌週四月四日から江尾キリスト教会に遣わされて参りました。信徒時代に何度も何度も行き来した教会でしたが、実際に遣わされてみると、「このままではどうにもならない……」という現実がありました。十字架は落ち、水道もなく、トイレもなく、用をたすためにはJR江尾駅まで行かなければならない状態で、「これでは人が呼べない」と強く思わされたのです。

の教会を修理して使用する案」、第二案は「教会を取壊し、更地にして時期を待って建築する案」、そして第三の案は「教会を取壊し、すぐに新会堂を建築する案」の三つでした。翌週、私達は信仰をもつて第三案を全員で選択し決定いたしました。全員と言っても、信徒さんは三名で、未信者一名の全体会議でした。

その時点での教会財勢は手持金が四十五万円足らずでした。そうした中で冒頭の御言葉を覚えながら、大急ぎで「趣意書」を作成し、その最終校

正は、今は亡き、恩師、郷守先生にお願い致しました。郷守先生は生死の狭間にありながら、直々にご指導くださいました。会堂建築には、米子教会の村上兄とご子息が、日夜労を惜しまず当たってくださいました。

ところが、その年の九月十三日、午後三時過ぎに、江尾教会の杖とも柱とも頼む、徳岡敬介兄弟が、突然、大型トラックに巻き込まれ、事故から僅か四日間の戦いの末、天に召されなされたのです。とても現実とは思えない出来事が起こってしまったのです。愛する兄弟は、時に六七歳でした。惜しみて余りある衝撃

的なお別れでした。

江尾教会に遣わされてから、僅か半年で、前夜式と葬儀の司務を務めるなどは夢にも思わぬ出来事でした。告別式の翌日は日曜日でした。その日の夜から「第八回山陰大山聖会」が地元大山で開かれました。悲しみの告別式と、喜びの聖会が同時に起こったのです。「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」(ローマ書十二章十五節)の御言葉が、その年、その時に、共にありました。

献堂式は、二〇〇四年十一月二十三日、真つ青な秋空のもとで、当時の理事長太田正信先生の司式により執り行われました。小さな会堂が満席になるほどの多くの方々がおいえ下さり本当に感謝でした。会堂建築のためにお祈り下さいました多くの方々に、今、改めてお礼申し上げたいと思います。

こうした背景のもとに、会堂建築から満五年が経過いたしました。然し、教会に定着している者は現在私を含めて五名なのです。満五年も経つのに中々求道者が起こりません。足りないのは、神様でも信徒さんでもなく、私自身に愛がなく、悔い改めの祈りが足りないのではないかと深く思わされるのです。

野外礼拝



江尾キリスト教会は、今新たに、これからの五年間を展望しています。その展望とは、伝道の原点とも言える「一人が一人を御救いに」という取り組みです、伝道、救霊の道は、決して安易な道とは思いません。然し、その推進力はイエス様が与えてくださる信仰と喜びです。イザヤ書六二

章四節、五節には「主はあなたを喜ばれ、……花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ばれる。」とあります、その励ましによって、私たちは「主を喜ぶこと」が出来るのです。「第三十九回連合夏季聖会」における倉賀野政先生のメッセージを思い起こします。

いのちの雫

もし、信じるなら

岡山中央キリスト教会

牧師 倉賀野政

イエスは彼女に言われた「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか」(ヨハネによる福音書 十一章四〇節)

これは、ラザロが病気で死んでしまった時、姉のマルタにイエス様がおっしゃった御言葉です。病気の方とお祈りする時、よくこの御言葉を用いています。

最近、一人の方を病院に訪問しました。広島県尾道市の方ですが、彼に洗礼をさすけた牧師と私は大変親しかったのは、神様のはからいでした。血液のがんで抗がん剤の治療をしていました。

彼は、若い頃洗礼を受けていましたが、四〇年以上教会からはなれていました。この病気になるまで再び信仰に目ざめて、病院で折る機会を得たのです。

「もし信じるなら神の栄光を見るであろうとあなたに言ったではないか」この御言葉を信じて共に祈りをしました。

思い出のクリスマス

～暁のキャロルとキャンドルの温もり～

湘南教会
信徒 清水昭雄



一九四六年(昭和二十一年)秋、近くに教会が設立されたこと聞き、集会に参加するようになりました。その「沼鶴教会」では、クリスマス早朝に有志の者が会員宅の門前でクリスマスキャロルを歌うことを恒例にし、未明四時に教会に集合して才一声、次いで沼鶴海岸駅前「良きおとずれ」をこの地区の人々に伝えたいとの思いを込めて歌い、続いて会員方のお宅を一軒一軒と回るうちに空も白らみ、やがて朝日が射すと二〇〇〇年前の天上からの光が偲ばれ、御使の歌声に負けじと声を張り上げ、何か大きな事を達成したような充足感と幸福感に満たされたものでした。世情の変化と共に早朝のキャロルは出来なくなり、二〇〇七年には、集会のために自宅を提

供されていた会員の方が長期入院となられたため、沼鶴教会は六十年の歴史を残して解散となりました。会員は夫々他の教会へ転会されて行かれましたが、沼鶴教会で受洗し、他教会の様子をあまり知らない私は、どうしたものかと悩んでおりました。その年の暮、家族のものが「湘南教会」のキャンドルサービスに参加したいと言うのを聞き、予ねてから家族と共に教会へ行きたいと希望しておりましたので、一緒に出掛けることにしました。当夜湘南教会に伺うと、加藤信治、育代両牧師ご夫妻とご母堂の篤子牧師が揃って迎えて下さり、ご参会の方々と共に永年の知己の様におもてなしを頂きました。小さいお子様も甲斐甲斐しくお手伝いをされて、教会の中は和やかな空気に満ちていました。一人一人の前に置かれたキャンドルは小さいものでしたが、その焔は悩んでいた私の心を温かく包み込みキャロルを歌って回った時とは違った幸福感を味わいました。「これまでで最良のクリスマスでした」とお礼を述べて帰りました。

したが、あの温い雰囲気忘れられず、一年後に改めて湘南教会に伺い転会をお願いして、本年一月より同教会の会員にして頂きました。「思い出のクリスマス」と云うには

クリスマスの思い出

浜田キリスト教会

信徒 白川英代

「世界ではじめのクリスマスは小さな小さなクリスマス、けれども喜び満ちあふれた気高いまことのクリスマス」今から十一年前のクリスマス。たてに長い板張りの九畳ほどのスペースに、地域の子どもたちが押し合うように集い、初めてお祈りを聞き、賛美を歌いみことばに触れたのです。私自身、小学校5年生の時に地域で開かれていた教会学校のクリスマス会で神様に出席させていただきました。我が家の初穂として救われ、多感な時期を神様に守られつつ過ぎました。大学で出会った主人も魂の救いを頂き、クリスチャンホームとしての歩みが許されたこと、一方的な神様の恵み以外の何もありません。結婚して子どもたち三人、与えられました。そして神様は二番目の娘に「自閉症」という障害をプレ

あまり最近のことではありませんが、キャンドルの温もりによって新たなクリスマスチャンライフに導かれた感謝の念は例えようもなく、敢えて記させて頂きました。

ゼントしてくださいました。このプレゼントが受け止め切れなかった頃、ある姉妹にこんな言葉をかけていただきました。「この子の存在そのものがあなたの天国行きの切符ね」。多くの日々を彼女と過ごす中で本当にそのとおりで感謝しています。そんな娘が地域の小学校にあがるころ、わたしの妹が引越してきてくれました。神様は弱いわたしの助け手として、信仰をもつ妹を遣わしてくださいました。近所に家も与えられました。「こひつじクラブ」と名づけました。初回のクリスマス会

に向けてポスターを貼り、チラシを子どもたちの通う小学校の校門前で配りました。毎日、娘と通っていたわたしは、全校の生徒と顔見知りでしたから、みんなが疑うことなく争うようにみことば入りのチラシを受け取ってくれました。そして、クリスマス会、三十人ほどの小学生が集い、神様と出会いました。その後は隔週の土曜日の午前中に「こひつじクラブ」を開催、紙芝居で聖書のお話をとりつき、賛美、おいのりをささげ、そのあと子どもたちと一緒に楽しい活動を行いました。お菓子作りや工作など、娘の得意な活動を一緒にすることで、ハ

ンデイがあってもみんなに認められることが多く、自然に関わってくれました。子どもたちの成長に伴い、形は変わっていきましたが、その時に許される範囲で祈りつつ続けさせていただいています。今年のクリスマスも「本当のクリスマス」を地域の方々に伝えてきたら幸いです。



さい病状も快復して、今夏退院することができました。健康が快復しただけでなく彼の信仰も回復し、教会からはなれていた事、家族に対して冷めたくしてきた事などを告白し悔い改めたのです。すばらしい神様の栄光があらわされました。

実は、この御言葉は。私自身にとっても、忘れることのできないものです。四〇年以上ですが、肺結核になり、二年半入院してしまいました。失意のどん底におとされたのです。最後に大手術をし、大出血をし、なんと一万CCの輸血をしました。しかし、多くの教会の方々や、友人、知人、家族が祈って下さいました。「もし信じるなら神の栄光を見るであろうとあなたにいつたではないか」との御言葉を信じて祈って下さったのです。幸い神様はみごとにいやして下さり、無事退院することができました。長い事休んでいた神様の御用にも復帰がゆるされ、今日に至っています。真に神様の御栄光があらわされたのです。それ以来、何か、というとき、すぐこの御言葉に立つてお祈りすることができまことは嬉しいことであり、神様に感謝しています。

病院でのクリスマス

岡山勝栄キリスト教会

信徒 大宮 幸

街の中でも、一般の方のお宅でも、最近はありとあらゆる所でクリスマスイルミネーションや行事などがとり行われています。この沢山の人が一人でも多く本当のクリスマスを知って教会に来てくれたらいいのに……と思うことがよくありました。

今年のクリスマス前、次男の容体悪化により思いがけず病院内でクリスマスを迎える事となりました。沈む気持ちを抑え意識のはっきりしない次男とクリスマス会に出席し

ながってこそ実を結ぶ、実を結ぶ為には余分な枝は取り除かれる。ぶどうの木と枝の譬のように主につながる、人間の努力ではない、わたしから離れては何もすることはできない。主につながる、み言葉がとどまる時、主の愛に満たされ、聞き従う事が出来る。十字架の愛に感謝し、実を結ぶ者にならせていただきましょう。早天祈祷会加藤信治師「主の愛のうちにいる教会」(ヨハネ一五章七一―二二節) 自分の心を整理する為(癒しのセミナー)より心の痛み、隠れている部分を示され、癒されている事を感じた。相手を思いやる、教会の兄弟姉妹の為に祈り、執り成す事の大切さを改めて教えられた。第II聖公会司会鶴沼君子師、説教朴永信師、題「私は良い牧者です」(ヨハネ一章一一節) 日々主を実感して実を結ぶようにと話された。ヨブはサタンに凡てをとられたが、生きておられる神を信じて疑わなかった。ダビデ王も神を信じて生き抜いた結果勝利を得た。モーセも

関東聖会報告

富士見望キリスト教会

牧師 鶴沼君子

関東地区の関東聖会は九月二〇日(二一日)に川崎青少年の家を会場にして行いその中で聖泉キリスト教会と日本弟子たちの教会の賛美がなされました。地区の先生方が、み言葉を取継いで下さいました。テーマは「主につながる」聖句は「わたしにつながつていなさい、そうすればわたしはあなたがたとつ



ながってこそ実を結ぶ、実を結ぶ為には余分な枝は取り除かれる。ぶどうの木と枝の譬のように主につながる、人間の努力ではない、わたしから離れては何もすることはできない。主につながる、み言葉がとどまる時、主の愛に満たされ、聞き従う事が出来る。十字架の愛に感謝し、実を結ぶ者にならせていただきましょう。早天祈祷会加藤信治師「主の愛のうちにいる教会」(ヨハネ一五章七一―二二節) 自分の心を整理する為(癒しのセミナー)より心の痛み、隠れている部分を示され、癒されている事を感じた。相手を思いやる、教会の兄弟姉妹の為に祈り、執り成す事の大切さを改めて教えられた。第II聖公会司会鶴沼君子師、説教朴永信師、題「私は良い牧者です」(ヨハネ一章一一節) 日々主を実感して実を結ぶようにと話された。ヨブはサタンに凡てをとられたが、生きておられる神を信じて疑わなかった。ダビデ王も神を信じて生き抜いた結果勝利を得た。モーセも

報告・案内

◆鴻南福音教会(阿部俊昭師)では、八月十二日(水)林みゆさん(小学四年生)、阿部かおりさん(小学二年生)の洗礼式が行われました。おめでとうございます。

- ◆熊毛キリスト教会(石井敬子師、緑師)の吉田雅子姉(享年八十歳)は、八月十九日(水)愛する主のみ許に召されました。御遺族の皆様の上に主のお慰めをお祈り致します。
- ◆教会の墓地在正光墓園に与えられお墓が十月末完成しました。
- ◆岡山中央基督教会(倉賀野攻師)では、九月六日(日)ラジオ牧師、有木義岳先生をお迎えして献堂二十八周年記念集会をされました。
- ◆関東聖会は、九月二十一日(日)川崎少年の家で関東地区内牧師のご用で行われました。
- ◆日本福音連盟常任理事会が九月二十八日(月)浅草橋教会(ウェスレアン・ホーリネス教団、黒木安信師)で行われ、連盟常務理事の太田正信師(岡山勝栄基督教会牧師)が出席しました。
- *十月二十六日(月)大阪方イデンパレスで、日本福音連盟理事会が開催され、倉賀野攻師と太田正信師が出席されました。
- ◆関東地区協議会の牧師会が十月二十六日(月)聖泉キリスト教会で開催されました。
- ◆聖泉キリスト教会(三浦清重師)では、十一月八日(日)三浦愛先生の主任担任教師就任式と特別礼拝が太田正信師を迎えて行われました。
- ◆米子キリスト教会(青木京子師)では、教会創立百周年記念集会を十一月八日(日)倉賀野攻師をお迎えして午前、午後と行われました。
- ◆加藤信治師(湘南教会牧師)と加藤和生兄のご奉仕により日本福音教会連合のホームページが出来ました。
<http://www2.csl.net.jp/~kkr216/ECU/>
- ◆日本福音教会連合理事会は二〇一〇年二月一五日(月)午後五時から一六日(火)午後五時まで。岡山中央基督教会にて行われます。お祈り下さい。

日本福音教会連合創立四十周年記念「イスラエルの旅九日間」(来年四月六日から)に御参加下さい。聖地イスラエルのみに集中の訪問可能な史跡を網羅、これ以上はない内容です。体力のない方へも配慮した旅程で、費用も二十五名以上で二十八万五千円の超割安です。詳細のお問合わせは、太田正信師まで。☎086・264・3044。携帯090・7895・1628